

みんなの力で  
あずまい  
まちづくり

## 市民参加型まちづくり1%システム

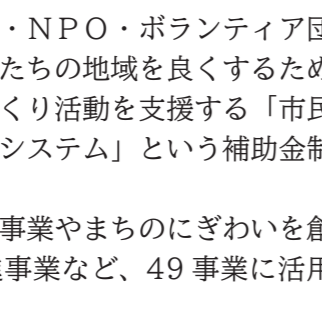
市では、まちづくりの基本的なルールを定めた「協働によるまちづくり基本条例」の考え方をもとに、市民の皆さんと一緒に、皆さんが主役となって活動するまちづくりを進めています。その取り組みの一つとして、町会・NPO・ボランティア団体・学生などが、自分たちの地域を良くするために自主的に行うまちづくり活動を支援する「市民参加型まちづくり1%システム」という補助金制度があります。

本年度は、地域交流事業やまのにぎわいを創出する事業、健康増進事業など、49事業に活用されています。

現在、来年度の実施事業を募集中ですので、皆さんのアイデアや経験を生かした提案をお待ちしています。制度内容や申請の出張相談も受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。※応募された事業は、審査会で総合的に審査し、事業採択の可否を決定します。

▼募集期限(1次募集) 1月20日(金)

※1月13日(金)までに、必ず事前の相談を。



### ▼制度の概要

制度内容	一般部門	スタート部門
団体の人数	5人以上	3人以上
申請回数の上限	なし	1団体1回まで
補助金の上限額	50万円	5万円
審査方法	プレゼンテーション、審査会	書類審査のみ

※『スタート部門』とは…まちづくり初心者向けの部門で、まだ1%システムを活用したことがない人や、書類作成やプレゼンテーションに慣れていない人におすすめです。

▼事業実施期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

※この制度に関する予算は、令和5年第1回市議会定例会で審議され、その可決をもって制度を実施します。

▼対象事業 原則、市内で実施される公益性のある事業で、住民や構成員が自ら行動して実施するもの

▼補助金額 対象経費の90%以内の額(上限があります)

▼申請方法 所定の書類を市民協働課へ直接持参してください。

※制度の詳細や申請書類は、市民協働課で配布するほか、市ホームページ(QRコード)に掲載しています。

■問い合わせ・提出先 市民協働課(市役所2階、☎40-7108、Eメール shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp)



## 連載 むっちゃんの 教えて文化財!

■問い合わせ先 文化財課  
(☎82-1642)

### 第8回

縄文のアクセサリー

## ヒスイ大珠

最近新たに指定された文化財や、話題になっている文化財の魅力を毎月お伝えします!



案内人・むっちゃん  
文化財行政に携わって12年! 学芸員資格を持つスペシャリスト(?) 職員。好きなおせちは「だて巻き」! 好きな食べ物ベスト3に入ってます。

前回の土偶に続き…  
10月13日に市が指定した  
なりたてホヤホヤの文化財です。

正式名は  
「ヒスイ大珠  
(湯口長根遺跡出土)」

縄文時代中期の  
中ごろ～終わりごろの  
ものと考えられています。



首飾りとして  
使われていたと  
考えられています

大きい  
ですね!

※写真は  
実物大。

縄文時代の  
ヒスイ製品は  
ほとんどが  
新潟県糸魚川産。

当時すでに  
青森県と新潟県で  
交易が行われていた  
ことがわかります。



直線距離  
400km  
以上!

今回の文化財指定のポイントは  
ヒスイの大珠が2つ同時に出土したこと。

このような  
特別なアクセサリーは  
誰もが持てるわけでは  
ありません。

つまり  
この2つのヒスイの存在から  
縄文人の集団の中には  
「一般の人」と「特別な身分の人」  
がいたことがうかがえます。

これほど大きなヒスイが  
2つもついた首飾り!

一体どんな首飾りで  
どんな人が持って  
いたんでしょうね

ロマンを  
感じ  
ますね!

次回「東日本最大級の農家建築 旧石戸谷家住宅」

## Hirosaki Art Times

ヒロサキ・アート・タイムズ #22

弘前れんが倉庫美術館に関連する情報を連載します。

■問い合わせ先 弘前れんが倉庫美術館(吉野町、☎32-8950、https://www.hirosaki-moca.jp/)

### 美術館でボランティア — 職場でも学校でもない活動の場

弘前れんが倉庫美術館は、令和4年11月に総来館者数が10万人を突破。初の来館者を迎えた令和2年6月以来、たくさんの方が訪れています。美術館といえば、展覧会などを鑑賞する場をイメージすることが多いかもしれませんが、市民参加活動の場にもなっています。

当館には、10代～70代の幅広い世代の約40人が参加するボランティア活動「れんが倉庫部」があり、部内の班の一つである「建築ガイド班」は、来館者向けに、館内を巡りながら建物の歴史や建築の見どころを解説する建築ガイドツアーを不定期で開催。部員それぞれの視点で建物について熱心に調べあげ、数回にわたるワークショップと、



幾度もの練習を重ねました。オリジナリティあふれるガイドツアーは参加者にとっても好評です。

また、今年度は初めて他館のボランティアの皆さんと交流する機会もできました。八戸市美術館、十和田市現代美術館のボランティアの皆さんと交流し、美術館における今後のよりよい活動のために意見交換を行いました。

当館では、スタジオや市民ギャラリーを借りて自主的にイベントや展示をする人も多く、日々さまざまな活動が行われています。新年を迎え、美術館で「活動する」ことにもチャレンジしてみませんか?

### 【新春イベント「美術館のお正月2023」】

1月2日(月)から美術館およびカフェ・ショップ棟でさまざまな新春企画を実施しています。詳細はホームページで確認を。

## ねぶたまつりポスターデザイン募集

毎年多くの観光客が訪れる「弘前ねぶたまつり」の魅力を生かすべく、市内外に広く発信するとともに、皆さんが弘前ねぶたまつりに来たいようなポスターデザインを募集します。個人・グループ・法人を問わず、どなたでも応募できます。

▼応募数 1人(1グループ)につき2作品まで

▼応募料 無料

▼提出物 応募申込書(1作品ごと)と作成したデザインのPDFデータ、JPGデータの2種類をEメールまたはCDで提出

※ポスターデザインに採用された作品は、AI、EPSまたはPSD形式のデータを提出。

▼提出方法 2月9日(木・必着)までに、持参またはEメール、郵送(書留)で提出を。応募

の詳細は募集要項をご覧ください。

※応募申込書と募集要項は市ホームページ(QRコード)に掲載しているほか、観光課(市役所5階)でも配布しています。

▼賞金と賞品 最優秀賞(1作品)…賞金15万円、特産品(1万円相当)、令和5年度弘前ねぶたまつりポスターデザインに採用/優秀賞(2作品)…特産品(1万円相当)

▼選考 弘前ねぶたまつり主催5団体等により厳正に選考し、各賞を決定。作品のデザイン性、表現性、誘客性などを総合的に選考します。

■問い合わせ・提出先 観光課(市役所5階、〒036-8551、上白銀町1の1、☎40-0236、Eメール kankou@city.hirosaki.lg.jp)

